

第454号 7月号 2022.7.20

岐阜県

商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市藪田南 5-14-53 TEL：058-277-1107

商店街にファミリー層が集まる！ 高山本町三丁目商店街「Hon-Sanマルシェ」開催

◆主催：Hon-Sanマルシェ実行委員会

高山本町三丁目商店街は、2022年5月29日(日)に「Hon-Sanマルシェ」を開催しました。晴天に恵まれた当日は、たくさんの家族連れが訪れ、賑わいをみせていました。

今回で4回目を迎えるHon-Sanマルシェは、2020年に商店街エリアに「行神橋(ぎょうじんばし)」が開通したことで、観光名所の古い町並みや宮川朝市から、対岸の本町商店街へのアクセスが容易になり、回遊性が向上し

たことをきっかけに理事会が発案し、春と秋に開催しています。

「コロナウイルスの影響で一時中断していましたが、今回、無事再開できよかったです。マルシェの認知も徐々に高まっており、累計で1万人ほどの方に来場いただいています。出店者は、高山市や飛騨など地元の方が中心です。飲食を始め雑貨や衣類など、様々なお店の方に出店いただいています。」とHon-Sanマルシェ実行委員の下畑さんは話されます。

■ 集いの場所を活かして新たな賑わいを創出

行神橋の側には、「飛騨高山にぎわい交流館 大政(だいまさ)」があります。大正時代末期に建築された町家「旧大政染物店」を改修整備し、市民や観光客が集える多目的施設となった大政は、案内所を兼ねた休憩所となっており、キッズスペースや授乳室、多目的トイレも備えた家族



▲晴天の下たくさんの家族連れで賑わう



▲「飛騨高山にぎわい交流館 大政」

に優しい施設となっています。

「人が集える場所ができたことで、新しい活動ができるきっかけとなりました。今後は、大政を活用した企画も検討しており、地域・行政が一体となって時代に合わせた取り組みを行っていきたいです。」と下畑さんは話されます。

■ 新旧のお店が一体となって賑わいをつくる

町の中心にある本町三丁目商店街では、テナントへの入居希望者も多く、新しいお店も増えているそうです。しかし、「新しいお店のオーナーにとっては、地元の事業者が多い商店街連合会の活動に参加しづらいという課題があります。そこで私たち連合会のメンバーは、意識的に新しい出店者さんに声を掛け、まずは顔見知りになることを心がけています。飲み会などにもお誘いし、いろいろお話しするようにしています。そうしたやり取りの中で信頼が生まれ、商店街の活動にも参加いただければいいなと思っています。」

「商店街は、やはり人でできています。昔からのお店も新しいお店も人との繋がり、お店同士の助け合いが大切だと思います。コロナで激減していた観光客の方も徐々に足を運んでくださっており、商店街にも賑わいが戻りつつあると感じています。商店街のメンバーも、改めて協力し合って商店街に来ていただけるよう、工夫をしていきたいと考えています。」



▲Hon-sanマルシェ実行委員会 下畑さん

巡回バス運行をきっかけに商店街への誘客を！ 「商店街お買い物券プレゼント」企画

◆主催：恵那市商店街連合会

恵那市商店街連合会は、2022年6月から開始された「恵那市まちなか巡回バス」の運行を記念し、「商店街お買い物券プレゼント」企画を行っています。

恵那市まちなか巡回バスは、東ルートと西ルートの2路線が運行し、駅や病院、商店街やスーパーマーケット等を巡回し、市民の生活の足となることが期待されています。

■ 巡回バスで立ち寄りのきっかけをつくる

「巡回バスの運行に際しては、市が1年間市民の乗下車を調査して停留所を決定しました。その際に、是非、商店街にも停留所をつくってほしいと連合会として嘆願しました。」と恵那市商店街連合会の大塚会長は話されます。

巡回バス運行！
6月1日(水)から

まちなか巡回バス

駅、病院、商店街、スーパーマーケット等を巡回運行で生活の足になる!!

6月1日(水)から、これまでの巡回バス路線がもっと便利に「まちなか巡回バス」として生まれ変わります。暮らしの生活に不可欠な病院、お買い物施設を巡りますのでお気軽にご利用ください。

運賃(乗車1回) 200円

乗車人数 8名

ご予約 不要

お買い物券! 無料乗車期間
令和4年6月1日～7日 / 10月1日～7日
令和4年6月～令和5年3月 毎月第1土曜日

●東ルートと西ルートの2路線が運行します

東ルート
西ルート

お問い合わせ 東鉄タクシー(株) TEL 0573-78-2135
恵那市役所交通政策課 TEL 0573-26-2111(代)内線 424

「商店街の一筋向こうには、内科や外科があります。病院を利用される市民の方に、何とか商店街まで足を運んで欲しいと考えていました。これまでは、病院前に停留所があったため、そこで乗下車が済んでしまい、誘客が難しかったのです。」

「今回、商店街内に停留所をつくっていただけたことで、商店街としても何か仕掛けをしなければと考案したのが、“100円お買い物券”です。このお買い物券は、恵那駅前・フヂシマヤ前・岩島屋前・公布町と、商店街に近い4つのバス停で下車された方を対象に、運転手の方に配付いただく方式を取っています。1枚は100円ですが、2,000枚を上限に期間中に何度でも配付しますので、集めていただければ商店街での大きなお買い物にもご利用いただけます。停留所をつくるだけではお客様に来ていただけないと思い、商店街皆で盛り上げようと考えた企画です。」

■ 連合会一体となって新たな取組みを目指す

「私たちの商店街は、この6月に2つの組合が合併しました。合併後の第1弾企画がこの巡回



バスを活用したお買い物券企画です。商店街の課題は資金と人材不足ですが、今回、合併を機会に協力者が増え、一致団結して新たな事業に取り組むことができました。今後は、駐車場運営を始めとする収益事業で基盤をつくることで、資金面でも安定を図り、新しい連合会として様々な賑わい創出のための取組みを行っていきたいと考えています。」

元精肉店の強みを活かしたメニューが大好評！ 「Shokusha」(多治見駅前商店街振興組合)

JR多治見駅からすぐに立地する「Shokusha」はアメリカンテイストの外観が特徴的な洋食ダイニングバーです。

元々、お父様の代では精肉店を営んでいましたが、周囲の環境変化に伴い、2000年に10席の飲食席を併設したところ好評を得たため、2004年に精肉店を完全に閉店し、飲食店へ業態を変更しました。

現在は息子の宗佳さんが店長を務め、お父様とお母様のサポートの下、家族で切り盛りをされています。



▲ダイナーのような外観

■ 精肉店のこだわりが凝縮されたメニュー

人気メニューは、精肉店の強みを活かしたお肉料理。牛肉メニューのすべては、極上黒毛和牛のみを使用するこだわりで、飲食店口コミサイトでは高い評価を得ています。

特にこだわりをもっているのが揚げ物です。一般的にはラードで揚げるお店が多いところ、当店では豚肉の脂を搾った油で揚げています。肉の旨味が凝縮された油で揚げる揚げ物は、肉本来の味を感じられると大人気です。

「油は昔から継ぎ足して使い、オリジナルの味を出しています。肉の脂で揚げるため、当店の揚げ物は黒っぽいのが特徴で、お客様からは肉の味がしっかりしていて美味しい、と言っていました。」と宗佳さんは話されます。



▲人気の揚げ物、牛肉メニュー

■ テイクアウトの強化で新たな顧客を獲得

コロナウイルスの影響は大きく、「ランチは賑わっていますが、夜の営業は厳しいです。当店は駅に近いので、コロナ前は会社関係の宴会などにも使っていただいていたのですが、今は団体のご利用はほとんどない状況ですね。」

厳しい業況の中でも、テイクアウトに力を入れているとのことで、ランチメニューだけでなく、100以上あるアラカルトメニューのほとんどもテイクアウトが可能で、近隣の方の利用が増えているそうです。

「多治見駅周辺はマンション建設が進み、若いファミリー層が増えているので、そういった方々の利用を増やしていけるといいと思っています。」

ます。」



▲人気メニューが自宅で楽しめると好評

■ 長く経営することで地元の信頼を得るお店に

コロナ前は10名ほどいた学生アルバイトの方々も、コロナの影響で休業をしている間に卒業を迎え、今は家族のみで運営をされています。

「また前のように皆で一緒にやりたいですが、今は先行きが不透明でなかなか雇用に踏み切れません。」

「私たちのような個人経営のお店は、大手チェーン店のように、ダメなら辞める、と次々業態を変えることはできません。だからこそ、細く長く続けていくことが大切だと思います。1年や2年大繁盛しても意味がないのです。地域で経営をしていくためには、お客様からの信頼を得ることが重要です。だからこそ、これからも真摯に真面目に続けていきたいと思っています。」



▲店長の橋本宗佳さん

住所：多治見市本町1丁目82

TEL：0572-22-0550

営業時間：ランチタイム

11:00～14:00

ディナー居酒屋タイム

18:00～24:00

(LO23:00)

祝日

18:00～24:00

(LO23:00)

定休日：日曜日

祝日は夜のみ営業。連休の場合は最終日が休み。

休日でも10名以上の場合は貸切営業可（要問い合わせ）

【取材・記事 中小企業診断士 二宮佳代】

◆ 株式会社全国商店街支援センター 支援メニュー

【トータルプラン作成支援事業／地域商店街活性化法認定支援コース】

地域商店街活性化法認定サポート

地域商店街活性化法の認定を目指す商店街を支援するため、専門家（支援パートナー）を派遣して認定のサポートを行います。この法の認定を受けることで、国の補助金等の優遇措置が受けられるようになります。

「地域商店街活性化法」とは

商店街の活性化のための地域住民の需要に応じた事業活動の推進に関する法律。商店街ならではの「地域コミュニティの担い手」としての機能を発揮することにより、商店街の活性化を図ることを目的とし、平成21年8月1日施行されました。

「支援パートナー」とは

支援パートナーとは、地域商店街活性化法や商店街活性化に関して、幅広い知識を持った専門家のことです。

（株）全国商店街支援センターに登録された支援パートナーを各地の商店街に派遣しています。

地域商店街活性化法認定フォローアップ

地域商店街活性化法の認定を受けた商店街の活性化事業計画の変更をサポートします。

地域商店街活性化法認定サポート＜7回（最大9回）＞

法認定を目指す商店街に対し、申請に必要な「商店街活性化計画」作成をサポート

地域商店街活性化法認定フォローアップ＜7回＞

法認定を受けた商店街の課題解決や、変更申請などをサポート

募集期間

令和4年3月22日（火）

～令和5年2月28日（火）

初回研修実施希望月の前月15日ぐらいまでに支援センターにご提出ください。

申し込み可能な団体

地域商店街活性化法認定サポートコース

地域商店街活性化法を活用した、商店街の活性化のための事業を検討、計画している商店街が対象です。

地域商店街活性化法認定フォローアップコース

法の認定を受けている商店街振興組合・協同組合等が対象で、事業計画の計画期間内であることが条件です。また、本派遣は、原則として変更申請に係る問題や課題を解決するための派遣ですので、応募に際し、派遣の目的を具体的にさせていただくことが必要となります。

お問い合わせ

地域商店街活性化法認定支援コース 担当

TEL: 03-6228-3061

【空き店舗総合支援パッケージ事業】

事業概要

現在、全国の商店街は近隣住民の少子・高齢化に伴う人口減少、大型店の撤退や郊外への出

店、また災害の頻発や新型コロナウイルス感染症の拡大などにより非常に厳しい商環境に置かれています。また商店街の中では、後継者不足、空き店舗の増加が大きな問題となっています。空き店舗総合支援パッケージ事業では、“空き店舗問題の解決”に向けて、商店街の皆さま自らが取り組むことを支援します。

《テーマごとに4つのステップ》

空き店舗の現状確認から出店者誘致まで、状況に合わせてステップを進みます。

《Step I》

空き店舗の現状を確認！

《Step II》

空き店舗物件の中身を調査！

《Step III》

出店者誘致につながる計画書を作成！

《Step IV》

お試し出店などのイベントを実施！

《空き店舗調査→立案→実行までがっちりサポート》

◎空き店舗活用に関する知識をもった支援パートナーがサポートします。

◎支援パートナー派遣に伴う費用は無料です。

◎出店者誘致の取組みにかかる費用を上限77万円まで、また、新型コロナウイルス感染症対策にかかる費用を原則上限2万2千円を、上記77万円とは別に支援センターが負担します。(Step IVに申請し採択された場合・いづれも税込)

《臨機応変にアレンジできます》

◎リモートによる研修も可能です。(詳細はお問い合わせ下さい)

◎各Stepの研修回数はアレンジできます。

研修の進捗状況をその都度、支援パートナー、支援センターと相談の上調整します。

《本事業の進行に関して》

本事業は、各Step最終段階で支援センターが進捗を確認した上で、次のStepにお進みいただきます。また、Step IVに関しては、Step IIIで作成した「実施計画書」のご提出と、支援センターが実施する審査会で採択される必要があります。採択後、委託契約の締結により、Step IVを開始することができます。

詳細は、公募要領、チラシなどをご覧ください。事業内容につきましては、お気軽にお問い合わせ下さい。

募集期間

令和4年3月22日(火)

～令和5年2月28日(火)

初回研修実施希望月の前月15日ぐらいまでに支援センターにご提出ください。

申し込み可能な団体

商店街が自ら空き店舗の対策に乗り出し、その活用や出店促進に取り組もうと考えている以下の商店街等が対象です。

商店街振興組合、商店街振興組合連合会、事業協同組合、協同組合連合会、任意の商店街組織、商工会議所、商工会、商店街あるいは商店街の構成員が出資・設立した民間企業

お問い合わせ

空き店舗総合支援パッケージ事業 担当

TEL: 03-6228-3061

■事務局(ゆ)のヒトリゴト

皆様、こんにちは！

ジメジメとした梅雨がやってきたと思ったら、あっという間に梅雨明けしてしまい、35度超えの日々がやって参りました。皆さん、いかがお過ごしですか？私は暑さにバテバテです。

3度目のコロナ禍の夏。夏のイベントも、縮小であったりはしますが、今年は開催するところが多くなりました。

娘たちと花火や夏祭りに行ける、いつもの夏が早く戻ってくることを願います。

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。